

LanScope Cat6

技術情報 Vol.22

～英語版OSでの動作・注意事項について～

2009年11月26日

第3版

エムオーテックス株式会社

英語版OSへの対応・注意事項

■英語版OSでのLanScope Cat6対応について

LanScope Cat6 MR、SA、DAは英語版OSに対応しています。

- ◆日本語表示のために必要な設定と、MRインストール時の注意事項があります。
- ◆マネージャ、コンソールについては未対応となります。

	Windows 2000	Windows XP	Windows 2003	Windows Vista	Windows 2008	Windows 2008 R2	Windows 7
MR	○	○	○	○	○	○	○
SA(サーバエージェント)	○	○	○	×	○	○	×
DA(検知エージェント)	○	○	○	×	×	×	×

※ Service Packの対応状況や詳しい対応状況については、日本語OSに準拠するので、エムオーテックスホームページの対応OS一覧よりご確認ください。

■英語版OSのサポートについて

LanScope Cat6 のサポートについては、日本国内のみとさせていただきます。

- ◆英語版OSで万が一、不具合が発生した場合でも、現地(国外)への訪問、現地(国外)からの電話、メールでの対応は行いません。日本国内の拠点から、海外のサポートをしていただく形になります。

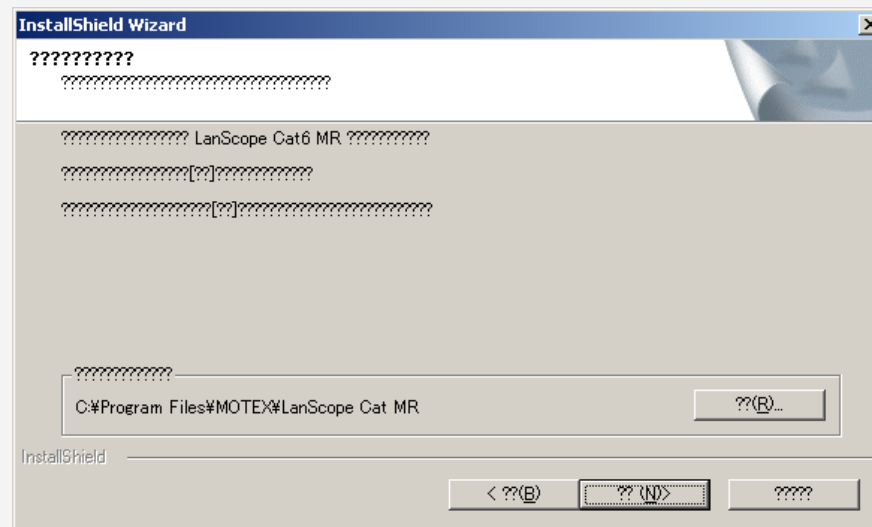
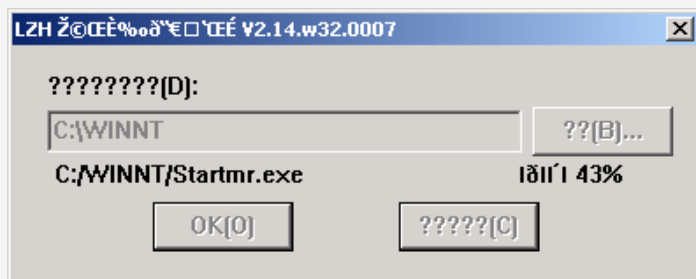
■ 英語版WindowsOSで日本語を表示するために必要な設定

英語版WindowsOSでは、日本語が表示される時に、文字化けが発生する場合があります。
対策として「コントロールパネル」の「地域と言語のオプション」の設定を変更することで日本語が文字化けせず、表示可能です。
(Cat6で情報取得するために、必ずしも必要な設定ではありません。)

◆ 英語版OSで「地域と言語のオプション」の設定を変更しない状態では、下記のように日本語が文字化けします。

英語版OSで、日本語を含むファイル名、ウィンドウタイトル、Webブラウザタイトルなどが文字化けするため、LanScope Cat6で、ログを取得した場合も、文字化けした情報が取得されます。

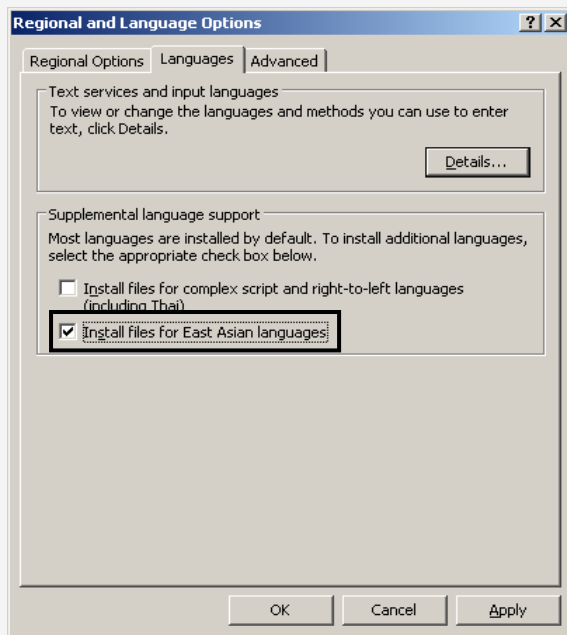
LanScope Cat6では、MRインストール・アンインストール時や、メッセージ機能のメッセージ、HOTFIXのメッセージ表示時などに文字化けが発生します。



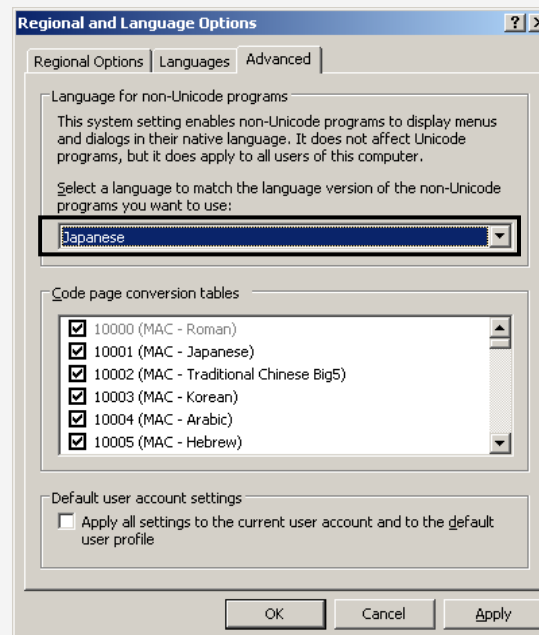
■ 英語版WindowsOSで日本語を表示するために必要な設定

◆ Windows XP Professional、Windows Server2003の場合

設定1: 「コントロールパネル」の「Regional and Language Options (地域と言語のオプション)」の「Languages(言語)」タブを開き「Supplemental language Support(補足言語サポート)」の、「Install files for East Asian languages(東アジア言語のファイルをインストールする)」にチェックを入れインストールする。



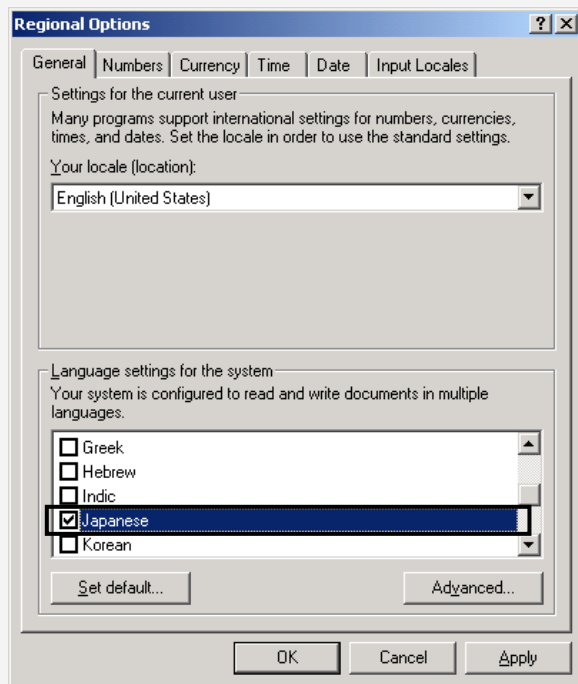
設定2: 「Regional and Language Options(地域と言語のオプション)」の「Advanced(詳細設定)」タブを開き「Language for non-Unicode programs(Unicode対応でないプログラムの言語)」を「Japanese」に設定する。



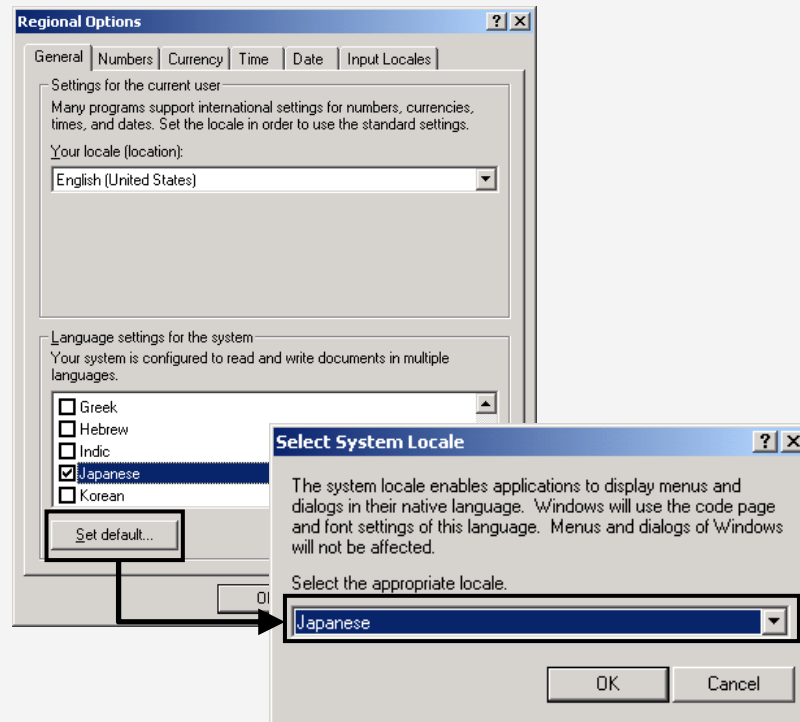
■ 英語版WindowsOSで日本語を表示するために必要な設定

◆ Windows 2000Serverの場合

設定1: 「コントロールパネル」の「Regional Options(地域のオプション)」の「General(全般)」タブを開き「Language settings for the system(システムの言語設定)」の、「Japanese(日本語)」にチェックを入れインストールする。



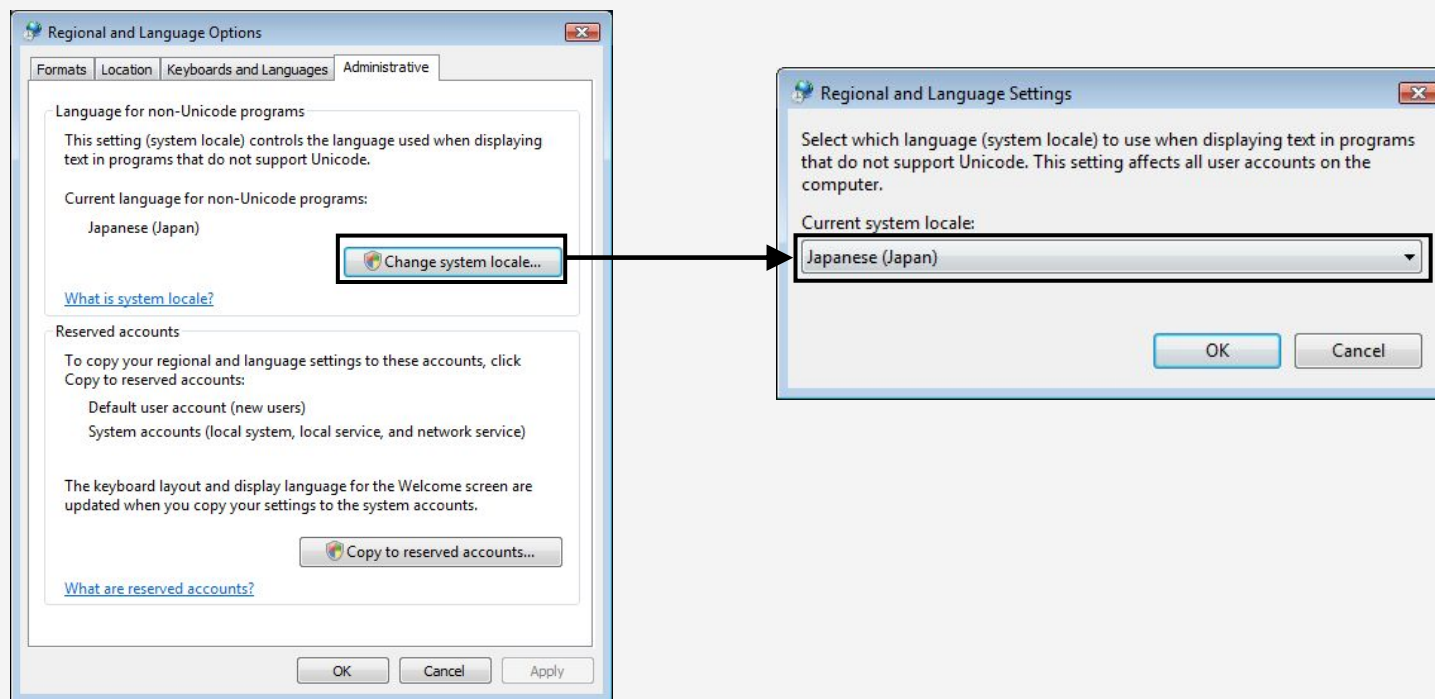
設定2: 「Regional Options(地域のオプション)」の「General(全般)」タブを開き「Language settings for the system(システムの言語設定)」の「Set default(既定値に設定)」を開き、「Select System Locale(システムロケールの選択)」で「Japanese」を設定する。



■ 英語版WindowsOSで日本語を表示するために必要な設定

◆ Windows Vista、Windows Server 2008の場合

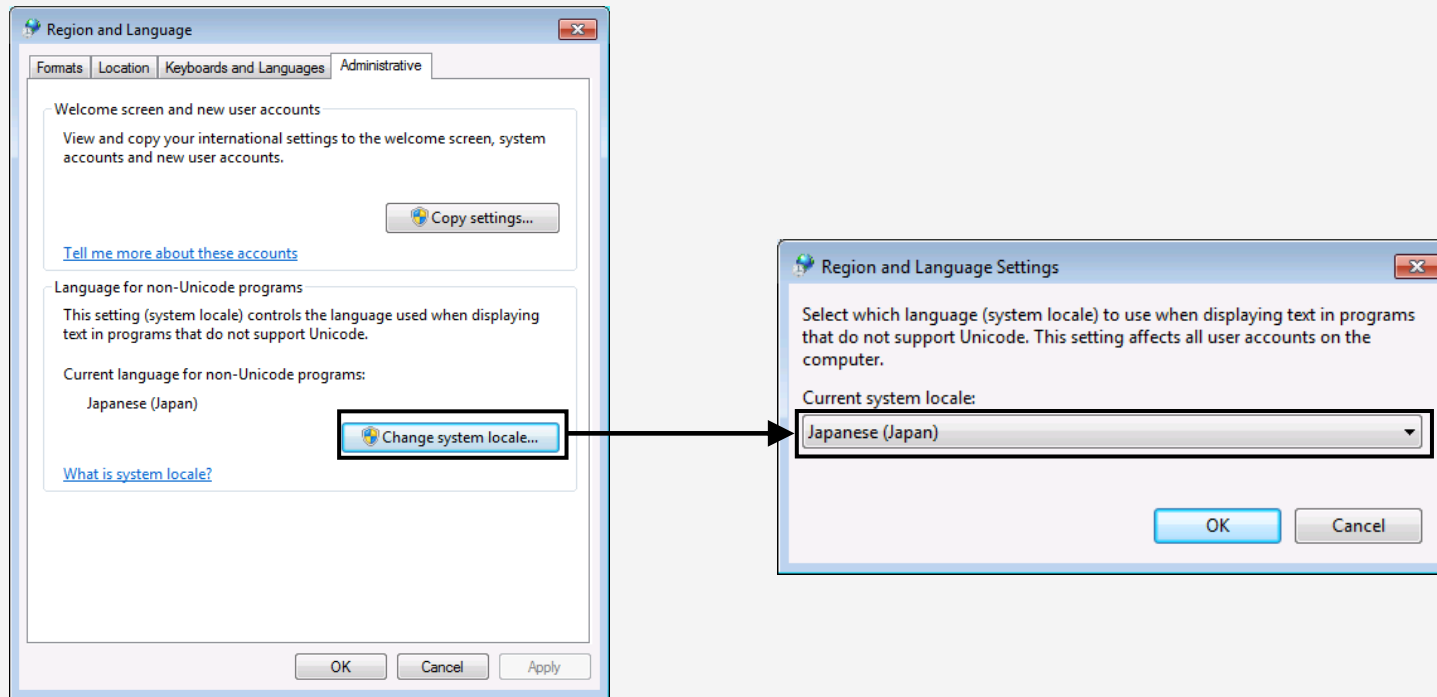
設定: 「Regional and Language Options(地域と言語のオプション)」の「Administrative」タブを開き「Language for non-Unicode programs(Unicode対応でないプログラムの言語)」を「Japanese」に設定する。



■ 英語版WindowsOSで日本語を表示するために必要な設定

◆ Windows Server 2008 R2、Windows7の場合

設定: 「Region and Language Settings(地域と言語のオプション)」の「Administrative」タブを開き「Language for non-Unicode programs(Unicode対応でないプログラムの言語)」を「Japanese」に設定する。



■ 英語版OSにMRをインストールする際の注意事項

英語版OSにMRをインストールする場合、ユニークキーを登録するためのMACアドレスを自動で取得することができない場合があります。MACアドレスが取得できない場合、インストール時に下記の情報画面が表示されます。



英語版OSのインストール時に日本語キーボードを選択してインストールしている端末で発生する注意点です。

◆ 対策手順

1. 上記情報画面で「OK」をクリックすると、MRの登録画面が表示されますので、手動で登録を行います。MACアドレスと資産管理サブマネージャサーバのIPアドレスを入力し、「登録」をクリックし、手動登録完了です。

